

## 令和4年度 小平十三小 児童アンケート 集計結果と考察

令和4年度は、保護者アンケートと一緒に全児童を対象に児童アンケートを行いました。

「そう思う」「ややそう思う」を合わせた肯定評価の平均値は80.8で、「授業中のきまり、生活のきまりを守って生活している」「友達を大切にしている」の項目は肯定評価が9割を超えていました。

授業中の様子を聴くと、「友達と話し合ったり、一緒に考えたりしている」の項目で86%が肯定評価をとり、授業において共に学ぶ機会がえられていると考えられます。

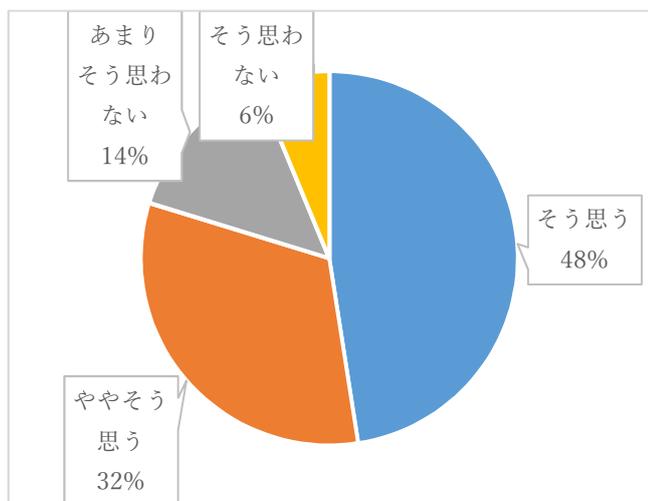
一方で、本校の目指す「自ら」という姿勢にかかわっては、「自分で考え、自分から行動している」「進んで手を挙げたり、発表したりしている」の項目で「そう思う」と断言できた児童が3割程度でした。この項目で「そう思わない」「あまりそう思わない」と回答した児童が21%というのも、今後の指導の進め方を考えるときに大きな示唆があります。今後とも自分で、自分から学ぶ機会を設けながら指導にあたっていくことで、この割合を上げていくことが課題になります。

また、「自分のことを大切に感じている」の肯定評価も84%で、自己肯定感が比較的高いとうかがえる結果になりました。今後とも一人一人の児童を大切に、丁寧に接しながら自己肯定感をさらに高めていくことも課題です。

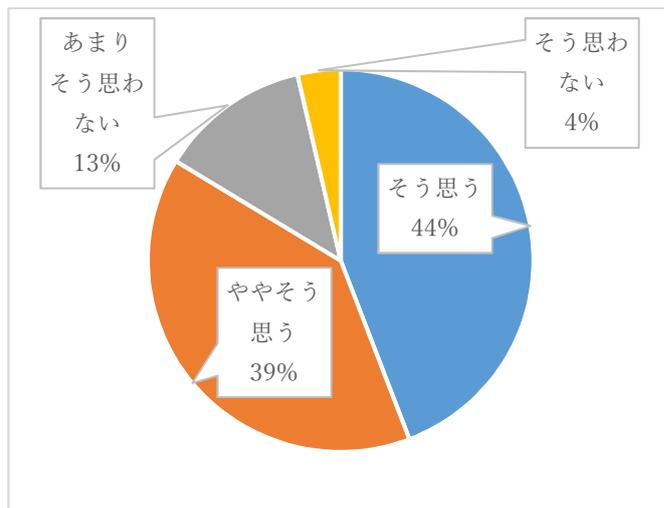
今年度、本校で重点課題として挙げた学習者用端末（タブレット）の活用については、83%の児童が「学習に役立っている」と回答するまでになりました。今後、家庭での端末活用も進めながら、学習者用端末を学習のツールとして有効活用してまいります。

子どもたちの意見が大きく割れたのが、家庭学習に関することです。本校では下学年30分、4年生以上で「学年の数字×10分」という目安を作って家庭学習を進めるようにしています。これに対して約3割の児童が「そう思わない」「あまりそう思わない」と回答していることから、今後の家庭での学習にかかわる働きかけを工夫していく必要があることがわかります。同時に、家庭での学習内容が一人一人にあったものになっているかについて、学習の個別最適化を図っていく観点からも検討・改善を進めていくことが課題となって浮かんできました。

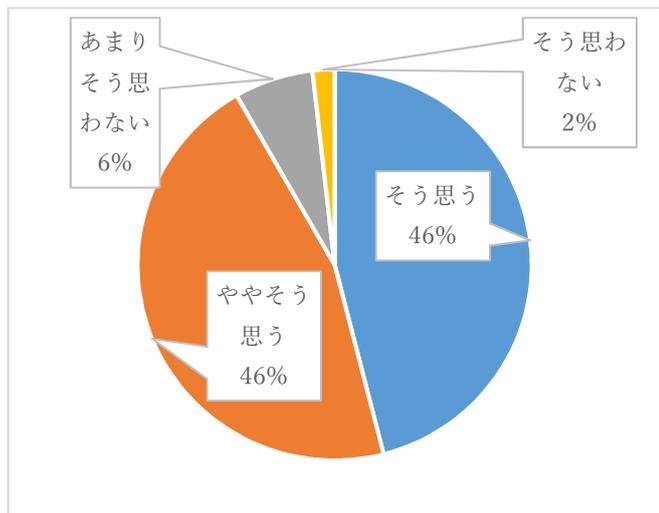
### 1 学校に来るのが楽しみだ



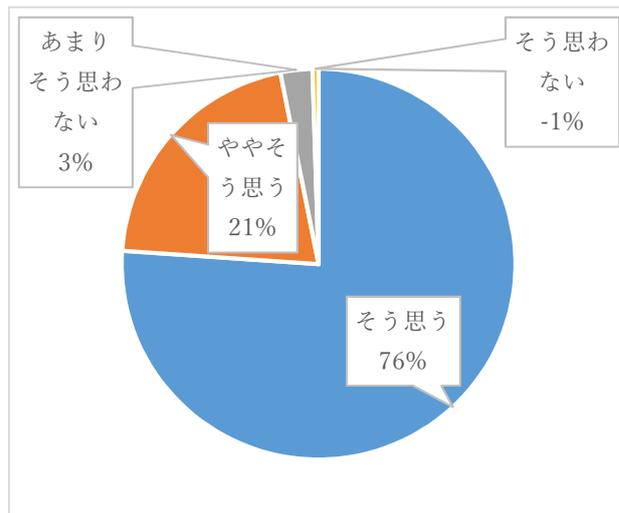
### 2 進んであいさつをしている



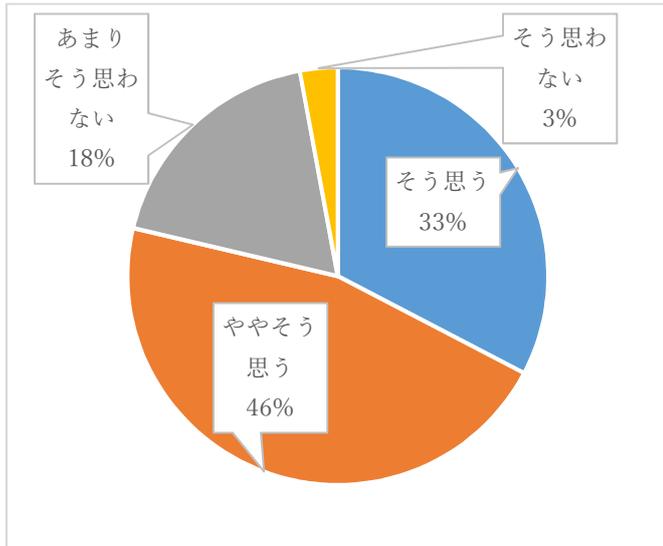
### 3 授業中のきまり、生活のきまりを守って生活している



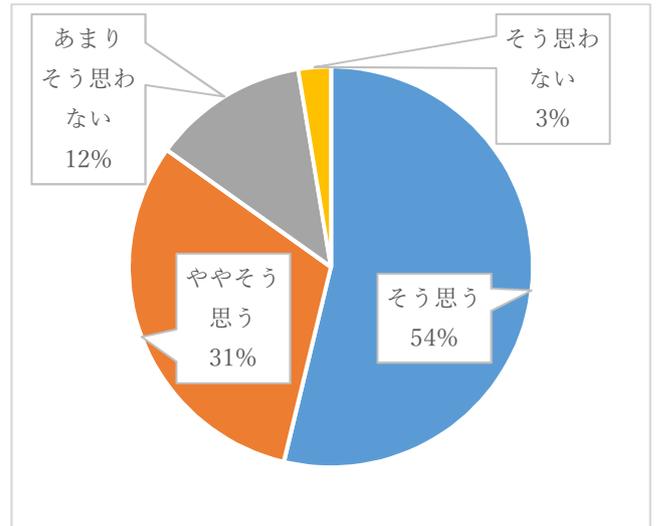
### 4 友達を大切にしている



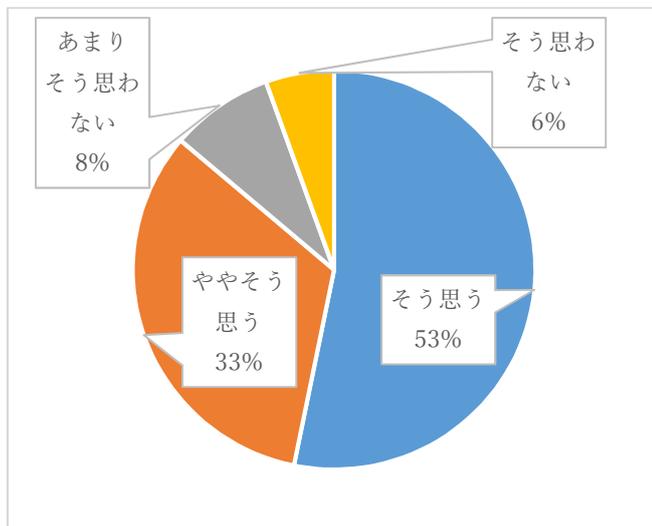
5 自分で考え、自分から行動している



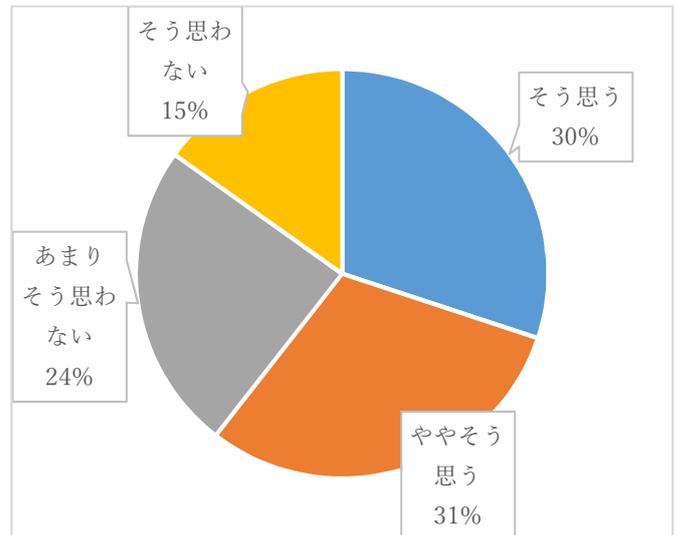
6 授業は分かりやすく楽しい



7 授業中、友達と話し合ったり、一緒に考えたりしている

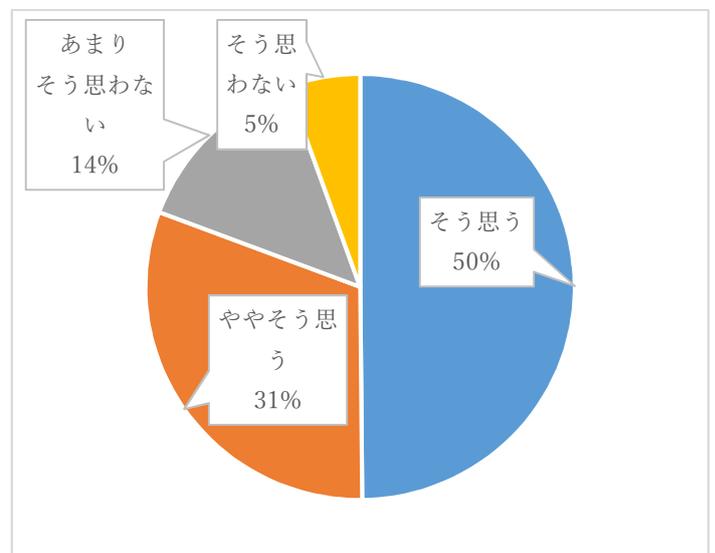
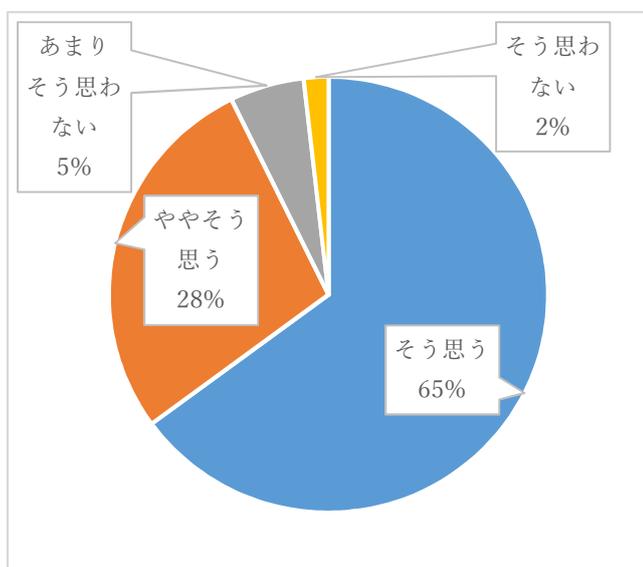


8 進んで手を挙げたり、発表したりしている

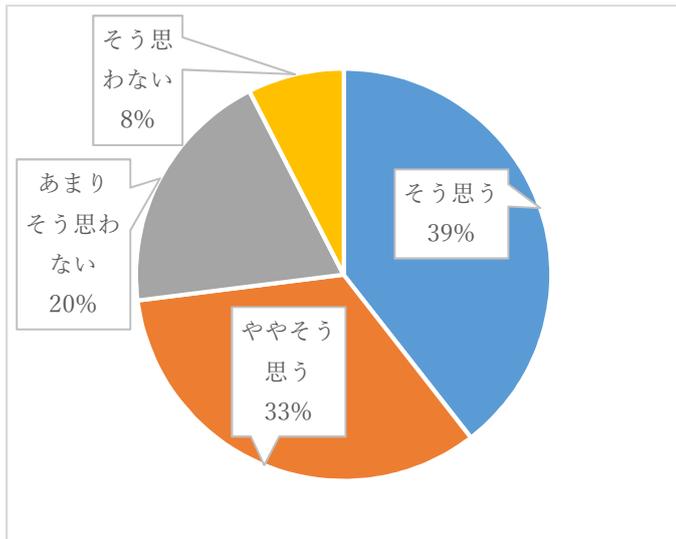


9 タブレットは自分の勉強に役立っている

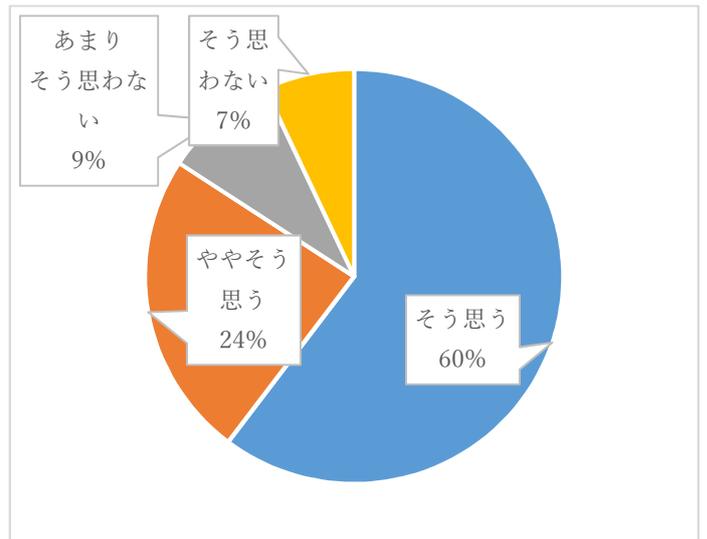
10 体力づくりに取り組んでいる



1 1 「早寝 早起き 朝ごはん」を守って生活している



1 2 自分のことを大切に感じている



1 3 家で毎日 (学年×10分) 勉強している

